

水痘（入院例に限る。）発生届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 12 条第 1 項（同条第 6 項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 令和 年 月 日

医師の氏名

印

（署名又は記名押印のこと）

従事する病院・診療所の名称

上記病院・診療所の所在地（※）

電話番号（※）（ ） -

（※病院・診療所に従事していない医師にあつては、その住所・電話番号を記載）

1 診断（検案）した者（死体）の類型 ・患者（確定例） ・感染症死亡者の死体	2 性別 男 ・ 女	3 診断時の年齢（0 歳は月齢） 歳（ か月）
---	---------------	----------------------------

病 型		その他の検査方法（ 検体（ 検体採取日（ 月 日 ） 結果（ 陽性・陰性 ） ・臨床決定（ ）
1)検査診断例 2)臨床診断例		
4 症 状	<ul style="list-style-type: none"> 発熱 ・ 発疹 ・ 肺炎 ・ 気管支炎 ・ 熱性痙攣 肝炎 ・ 膿痂疹 ・ 蜂窩織炎 ・ 敗血症 脳炎 ・ 髄膜脳炎 ・ 小脳炎 ・ 小脳失調 急性呼吸窮迫症候群（ARDS）・急性散在性脳脊髄炎（ADEM） 根神経炎 ・ 急性腎不全 ・ 小腸穿孔 ・ 心膜炎 播種性血管内凝固症候群（DIC） ・ 多臓器不全 内臓播種性水痘 ・ 妊婦水痘 ・ 免疫不全 他疾患入院中の発症 後遺症（ ） ・ その他（ ） 	6 初診年月日 令和 年 月 日 7 診断（検案（※））年月日 令和 年 月 日 8 感染したと推定される年月日 令和 年 月 日 9 発病年月日（*） 令和 年 月 日 10 死亡年月日（※） 令和 年 月 日 11 感染原因・感染経路・感染地域
5 診断方法	<ul style="list-style-type: none"> 分離・同定による病原体の検出 検体：水疱内容液・咽頭拭い液・末梢血リンパ球・血液・髄液・その他（ ） 検体採取日（ 月 日 ） 結果（ 陽性・陰性 ） 蛍光抗体法による抗原の検出 検体：水疱内容液・水疱基底部分拭い液（水疱内剥離感染細胞）・その他（ ） 検体採取日（ 月 日 ） 結果（ 陽性・陰性 ） 検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出 検体：水疱内容液・咽頭拭い液・末梢血リンパ球・血液・髄液・痂皮・その他（ ） 検体採取日（ 月 日 ） 結果（ 陽性・陰性 ） 血清 I g M 抗体の検出 検体採取日（ 月 日 ） 結果（ 陽性・陰性・判定保留 ） 抗体価：（ ） ペア血清での抗体の検出 検体採取日（ 1 回目 月 日 2 回目 月 日 ） 抗体価 （ 1 回目 2 回目 ） 結果：抗体陽転・抗体価の有意上昇 検査方法：EIA ・ IAHA ・ NT ・ CF ・ その他（ ） 	①感染原因・感染経路（ 確定・推定 ） 1 飛沫・飛沫核感染（感染源となった水痘患者・带状疱疹患者・状況： ） 2 接触感染（感染源となった水痘患者・带状疱疹患者・物の種類・状況： ） 3 院内感染（感染伝播の状況： ） （入院していた理由（疾患名） ） 4 その他（ ） ②感染地域（ 確定 ・ 推定 ） 1 日本国内（ 都道府県 市区町村） 2 国外（ 国 詳細地域 ） ※ 複数の国又は地域が該当する場合は全て記載すること。 渡航期間（出国日 年 月 日・入国日 年 月 日 国外居住者については 入国日のみで可） ③水痘ワクチン接種歴 1 回目 有（ 歳） ・ 無 ・ 不明 接種年月日（ S・H・R 年 月 日 ・不明） 製造会社/L o t 番号（ / ・不明） 2 回目 有（ 歳） ・ 無 ・ 不明 接種年月日（ S・H・R 年 月 日 ・不明） 製造会社/L o t 番号（ / ・不明）

（1, 2, 4, 5 及び 11 欄においては該当する番号等を○で囲み、3 及び 6 から 10 までの欄においては年齢又は年月日を入力すること。

（※）欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。

（*）欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。

4 及び 5 欄においては、該当するもの全てを記載すること。）

この届出は診断から7日以内に行ってください